

**12/2(日) ~差別のない明るいまちづくりをめざして~
第3回菊池市まちづくり人権フェスティバル**

菊池市文化会館で、市内外から約 1,000 人が参加し、菊池市まちづくり人権フェスティバルが開催されました。

大ホールでは小・中学生による感性豊かな人権作文の発表のほか、各種団体による寸劇や菊池市解放教育研究会による啓発劇がありました。学校からの発表では、戸崎小学校の児童による劇「嘉代子桜」の披露があり、多くの参加者の涙を誘いました。

講演会では、テレビなどでおなじみの読売テレビ放送報道局局長の辛坊治郎さんが、「人権侵害を無くすために」と題して講演しました。阪神・淡路大震災での実体験をもとに、情報の正しい選び方について分かりやすい解説があり、多くの参加者の共感を呼びました。

小ホールではパネルなどの展示コーナーが設けられ、戦争と平和に関する資料や水俣病問題、菊池市における人権教育の取り組みの現状として、学校や保育園・幼稚園における取り組みなどが紹介され、参加した皆さんが人権について考える有意義な 1 日となりました。

また、「世の中からいじめをなくして」などの人権に関する熱いメッセージを 300 個の風船に託し、大空高く一斉に放つと、参加者からは大きな歓声があがりました。

今回の菊池市まちづくり人権フェスティバルの開催にあたり、市民の皆さんから出展された作品についての表彰も併せて行われました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 人権作文(小学生)の部 ことまな(河原小2年)
- 人権作文(中学生)の部 歌丸愛依子(七城中3年)
- 人権ポスター(小学生)の部 宮川早苗(戸崎小3年)
- 人権ポスター(中学生)の部 坂本安純(七城中3年)
- 人権標語(小学生)の部 前川侑美(迫水小5年)
- 人権標語(一般)の部 藤野清子
- 人権の詩(小学生)の部 やましたりゅうすけ(河原小1年)
- ※全国人権作文コンテスト特別賞(熊本日日新聞社賞) 石井新之介(七城中1年)



人権に関する熱いメッセージを風船に託し、大空高く一斉に放つ参加者

12/18(火)

**菊池ライオンズクラブが菊池市に
防犯パトロール車を寄贈**

菊池ライオンズクラブ(菅野泰明会長)から、菊池市に防犯パトロール車1台が寄贈されました。贈られた車は、ホンダのステーションワゴンタイプの自動車(5人乗り)で、固定式青色回転灯が搭載されています。安全対策課が管理し、地域の防犯パトロールに活用されます。

菊池市役所玄関前であった贈呈式には関係者など約 50 人が出席し、土本勝洋実行委員長が「社会的弱者、特に小・中学校の児童・生徒が安心して暮らせる地域社会の実現に貢献できるよう末永く利用ください」とあいさつ。福村市長が「地域をパトロールする車として使わせていただきます」とお礼を述べました。寄贈、ありがとうございました。



福村市長(左)にカギのレプリカを渡す松本隆司事業委員長(右)と寄贈された防犯パトロール車

12/18(火)

**菊池市工業連絡協議会が2回目の
共同製作製品を寄贈**

菊池市工業連絡協議会(寺田草三会長)から、加盟企業(全 14 社)で共同製作した「エアークッション」、「ベンチ」が菊池市に寄贈されました。

発案者の古澤克哉さんを含む同協議会の会員が菊池市役所を訪れ、寺田会長から福村市長へ「地域社会への貢献を目的に、工業製品の製作過程で出る余剰材料を活かして作った製品です」と目録が渡されました。昨年 3 月の寄贈に引き続き、今回で 2 回目の寄贈となります。

寄贈された製品は、市役所や公民館、老人ホームや保育園など市内の各施設で活用されています。寄贈、ありがとうございました。



市役所を訪れた菊池市工業連絡協議会の会員の皆さんと寄贈された「エアークッション」、「クッション」、「ベンチ」

10/22(土) 菊池北小の児童の夢が「白竜印の紅白まんじゅう」に!

菊池北小学校(倉原久義校長)の 6 年生が、隈府迎町の中原松月堂で白竜の図柄の刻印をお菓子に押しつけて店頭販売しました。

6 年生は昨年度の総合的な学習の時間の中で「菊池の産業」について学習しました。その中のお菓子グループが、菊池の産業を盛り上げるため市民に馴染みの深い白龍をお菓子作りに生かすことを発案し、菊池市商工会青年部長の梅田雄二さんとパネルディスカッションを開きました。

その後、梅田さんは「何とか子どもたちの学習を菊池のために生かせないか」と、同じ青年部で菓子店経営の中原大松さんに相談したところ、竜の焼きごてを作り紅白まんじゅうに刻印して発売することになりました。

発売初日には中原松月堂に児童が集まり、焼きごてを使ってまんじゅうに刻印したり、「白竜印のまんじゅうです。いかがですか」と威勢の良い声を出して店頭で販売したりしました。また、児童たちは「私たちの活動が菊池の発展につながればうれしいです」と話していました。



焼きごてを使ってまんじゅうに刻印する菊池北小の児童たち

11/3日(祝)

「きくちおはなしのもり」が全国優良読書グループとして表彰



受賞を喜ぶ、きくちおはなしのもりのメンバー

「きくちおはなしのもり(原保奈美代表)」が、全国優良読書グループとして表彰されました。(社)読書推進協議会の「読書週間」事業のひとつとして、各都道府県を通じて全国優良読書グループ表彰が毎年行われており、1 地域に 1 グループが表彰され、今回は全 39 グループが表彰を受けました。

同グループは、菊池市中央公民館で毎月 2 回、定例でお話会を行っており、結成当初より 12 年間続いています。お話会の中には、菊池の昔話を取り入れられており、伝承にも力が入れています。また、保育園や小学校など、子どもたちがいるいろんなところでお話会を開いて、子どもたちやお母さんたちとの交流にも努めています。

今回の表彰は、その功績が認められたものです。同グループの益々の活躍が期待されます。

11/14(水)

戦没者慰霊祭

慰霊祭が旭志総合支所慰霊碑前(支所駐車場西側)で行われ、遺族や来賓約 60 人が参列しました。

これは 2 年に一度、旧旭志村の戦没者 245 柱の慰霊のために行われているもので、阿蘇北宮神社より宮司をお迎えし、約 1 時間にわたって式典が実施されました。

戦後 62 年を迎え、参加者たちは平和の礎となった戦没者に感謝と哀悼の意をこめて、祈りをささげていました。

慰霊塔に玉串を捧げる遺族

